

CASBEE® 名古屋

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版、名古屋市建築物 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)
環境配慮制度運用マニュアル2014

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東区古出来2丁目計画 新築	階数	地上7F
建設地	名古屋市東区古出来2丁目901番	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、近隣商業地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年10月16日
敷地面積	1,866 m ²	作成者	
建築面積	857 m ²	確認日	2015年10月16日
延床面積	4,373 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.3 ★★★★★☆☆☆☆

☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 シンボルツリーなどを活かし沿道には植栽を配置し、周囲に緑量感をアピールできるように工夫した。		その他
Q1 室内環境 室内環境向上を目指し省エネルギー対策等級3を取得する。	Q2 サービス性能 居室はベッド等の家具がきちんとおける広さの部屋を確保したり、天井高を2.4mを確保し機能性に優れた計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界際には緑地帯を設け周囲に緑量感を印象付ける計画としている。
LR1 エネルギー 省エネルギー対策等級3を取得することで建物の熱負荷抑制に努めている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材種類の採用を重視している。	LR3 敷地外環境 建物利用者のための適切な駐車・駐輪スペースを確保し交通負荷を抑制している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される